

平成23年度環境対応車を活用したまちづくりに関する 実証実験地域等の決定について

都 市 局
自 動 車 局

1. 概 要

都市局と自動車局では、環境対応車を活用したまちづくりを推進するために、平成21年度に「環境対応車を活用したまちづくり研究会」を設立し、国の関係機関や地方公共団体と協働して環境対応車の利用環境の整備に向けた検討を進めてきたところです。

この度、平成23年度に環境対応車を活用したまちづくりに関する実証実験の実施に当たり、協働で実証実験を行う地域について、平成23年5月20日から6月10日まで

- ①電動バスの運行に関する充電施設設置のあり方
- ②超小型モビリティ等の利活用による地域交通システムのあり方
- ③駐車場等への充電施設の適切な設置・配置に関する調査

の3つのテーマについて公募を行い、申請のあった地域の中から公募時に提示した募集条件を満足しているか、検証できる内容が充実しているか、協議会などの実施体制や関係機関との協議調整が進んでいるか等を総合的に評価し、下記のとおり14の選定地域と主な検証予定内容を取りまとめましたのでお知らせします。

今後は必要な手続きを進め、今秋頃から実験を実施する予定です。

記

① 電動バスの運行に関する充電施設設置のあり方

都 県 市 名	概 要
東京都	・ 豊洲駅から東京ビックサイトを経由する路線において電動バスを運行 ・ 電動バス（非接触給電方式）を用い、バス停等での充電を検証
京都市	・ 京都市役所を循環する路線において電動バスを運行 ・ 電動バス（プラグイン方式）を用い、バス停等での充電を検証
福岡市	・ 福岡市内の既存バス路線等において電動バスを運行 ・ 電動バス（プラグイン方式）を用い、バス停等での充電を検証

② 超小型モビリティ等の利活用による地域交通システムのあり方

都区市名	概 要
青森県	・ 奥入瀬渓谷のマイカー規制区間における観光利用の導入モデルの検証（観光客を中心としたモニターによる2日間程度の利用）
館林市	・ 主に高齢者における移動支援の導入モデルの検証（住宅地域の住民を中心としたモニターによる1週間程度のレンタル利用）
千代田区	・ 大丸有、神田地区における市街地での物流効率化等を検証（運送事業者による4カ月程度の小口配送利用）
横浜市	・ 中心市街地と観光地の集積エリアにおける都市交通システムとしてのカーシェアリング利用等の導入モデルの検証（一般募集したモニターによる4週間程度の利用）
豊田市	・ 施設内の疑似市街地における立ち乗り型超小型モビリティの利活用等を検証（一般募集したモニターによる4週間程度の利用）
福岡県 <small>（高齢者にやさしい自動車開発推進知事連合）</small>	・ 主に高齢者の日常生活における導入モデルの検証（中山間地域を中心としたモニターによる1週間程度のレンタル利用）
福岡市	・ マンションカーシェア利用等の導入モデルの検証（環境モデル街区として整備したニュータウンエリアの住民による2カ月程度のカーシェアリング利用）

③ 駐車場等への充電施設の適切な設置・配置に関する調査

都区市名	概 要
神奈川県	・ 個人所有、法人所有あわせて300のモニターを確保 ・ 充電施設の操作性、案内方法、混雑状況及び予約の必要性について検証
浜松市	・ 市有の充電施設、民間の充電施設の利用者60のモニターを確保 ・ 利用しやすい充電設備の配置、空き情報の案内等について検証
京都市	・ カーシェアリング利用者、タクシー事業者あわせて500以上のモニターを確保 ・ 充電設備の最適な場所、充電タイミングについて検証
大阪府	・ 個人所有、タクシー事業者あわせて500のモニターを確保 ・ 予約システムの利用状況、利用料金等について検証

※なお、検証内容について、関係機関との調整状況等により、変更の可能性がある。

（用語の意味）

- ・ 非接触給電：電磁誘導等により外部電源から給電すること
- ・ 超小型モビリティ：1～2人乗りの超小型車両であって、環境にやさしい、取り回しがしやすい、駐車スペースが少なく済む等の特徴を有し、数キロ内の地域内移動に適するもの